

希望の種

ふくおかNPOファイル

②③

福岡市南区の「エスタスカ
ーサ」は、障害者支援と地域
交流スペース運営を主な事業
として行うNPO法人です。
2階建てテラス付き事務所の
庭では年末年始に恒例の餅つ
ぎが行われ、毎回、約40人が
集まります。顔触れは障害者
や介助スタッフ、その家族、
近所のお年寄りなどさまざま
です。地域社会の縮図がそここ
ろにあるように感じられます。

団体の由来、スペイン語
の「Estasus Cas
a」は「ここを自分の家だと

エスタスカーサ

事務所＝福岡市南区▽電話番号＝092(980)5675
メールアドレス＝info@estasu.org

暮らしの支援を広げ

思ってくつろいでください」という意味。垣根を取り払い、ここに来れば誰かに出会えるという場をつくることで「自

分もサポートを受けるだけで

り方や相互理解であり、そのために日々の暮らしの支援がより重要になるのではない

校などに通う小中高生を対象にした「放課後等デイサービ

はなく誰かのためにできることがある」という気付きに変わるきっかけにしたのです。

理事で福祉事業現場の管理者である安宅正美さん(41)は以前も障害者支援の福祉施設で働いていました。だが障害者の就労がうまくいかず、1年足らずで辞めてしまう人も多い現状を見て、企業と施設の間でマッチングや相互の業務訓練、指示等のコミュニケーション改善を行う「ジョブコーチ」として独立を考えて



エスタスカーサが取り組む放課後等デイサービス

2004年に安宅さんと知足

「学童保育」。スタッフは保育士や幼稚園教諭、小学校教諭などの資格を持ち、それぞれの障害の特徴に合わせた療育を行うことができます。誰もが対等に支え合う社会は、障害のあるなしに関わらず、私たちが求めたい理想の一つではないでしょうか。担当の和田谷雄二さん(28)は「一人一人の特徴に合わせた関わりが将来、子どもたちが社会に出て『活躍』することにつながっていく」と話していました。

(仮認定NPO法人「アカツキ」代表理事・永田賢介)

今年6月からは平日午後や学校休日の日中、特別支援学

原則毎週月曜掲載